

本山寺山森林づくりの会」活動報告(2021.11.21)

文・写真：武田、山國

日時：2021(令和3)年 11月 21日(日) 9:30～15:00

気象：晴(気温 11～12℃)

活動エリア：44林班は-02

活動内容：地域環境保全(里山林保全)

参加者(会員)：猪川 誠、大本孝子、斧田一陽、倉谷邦雄、河野直子、薦田佳一、武田壽夫、中村賢三、
宮本 廣、山田真也、山 國

(体験)中川義行

会員 11名 + 体験 1名 = 計 12名

<一寸 お耳を……>

◆晴天、無風の、10℃以上の気温、と絶好の活動日和。加えて、地元(川久保)の中川さんに新たに加わって頂けそう。合計 12名、三班に分れ、引き続き 44林班は-02の整備を進める。

◆閑話休題(NHKのブラタモリの観察：本山寺山の地層)

活動地は「滑落・転倒要注意」場所。一帯は地質学上「丹波帯」の一部で、「本山寺コンプレックス」を形成しているそう。頁岩を主体に砂岩・緑色岩・チャートを含む「特異な岩相」とか。

*京都西南部地域の地質(H17 独立行政法人 産業技術総合研究所 地質調査総合センター)

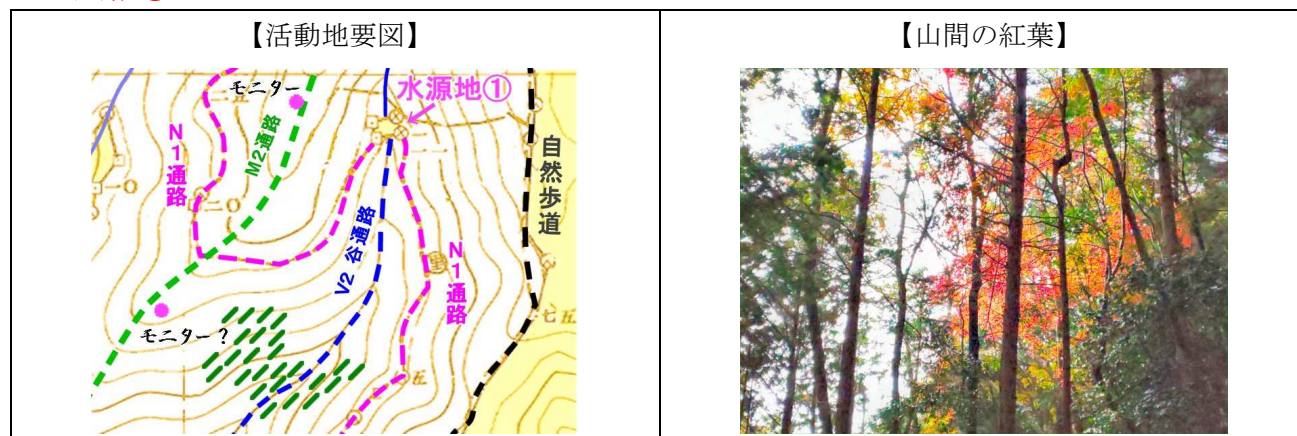


本山寺参道沿いの海底玄武岩溶岩露頭

<今日の成果>

大物はチェーンソー、鋸組は上手と下手の二手に分れ、斜面の倒木や切り離し木を玉切りし、棚積みや山道の路肩固めに運び移す。いつも乍ら運搬は肩・腰に堪えるが、それでも仕上がりを「妄想」して精を出し、幅 10m×距離 100m=0.1haの範囲はスッキリ、身体ガタガタ、充実感タップリの一日。最後に、お待たせ”本山寺山の紅葉”は写真編で。

<写真編①>



<写真編②>

【倒木処理中】



【何とか山道を通す】



【溪の倒木処理中】



【ちょっと一息 雪と干し柿（郡上市）】



【斜面の林床整備】



【引上げた倒木で整備された路肩】

